

令和4年度 備前市立吉永中学校 学校経営計画書

本校の
ミッション
(使命・存在意義)

○本校の教育の目的を「世の中に貢献できる人材を育成する」「全ての生徒に自立（独り立ち）・自律（コントロール）できる力を身につけさせる」こととし、一丸となって教育活動を進める。
○校訓「立志」「誠実」「剛健」が示す生徒像を目指した教育実践を通して、「志の実現に全力で取り組む心身ともにたくましい生徒」を育成し、生徒・保護者・地域から信頼される学校及び地域に開かれた学校づくりを推進する。
○こ小中一貫教育でめざす子ども像「郷土を愛し、夢に向かって輝く吉永の子どもたち」を具現化した取組を中学校区で行い、地域に誇りをもつ生徒を育成する。

学校内外
環境分析

	内部環境	外部環境
+	<ul style="list-style-type: none"> 学校全体は落ち着いており、まじめで素直な生徒が多い。 ほとんどの生徒が校則をきちんと守り生活することができている。生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。 行動目標【自分から「よしなが」】が定着しはじめている。 教職員の指導が積極的で細やかであり、信頼している生徒・保護者が多い。 職場の雰囲気が明るく、穏やかで協力的な体制がある。また教職員の連携も深まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然に恵まれた地域であり、保護者からの理解や協力が得られやすい。 大変美しい学校で、施設・設備が整っている。特に ICT 機器が整備されており、保護者や生徒の満足度が高い。 大半の保護者が子どもを吉永中学校に通わせて良かったと評価している。 地域の方が、学校に対して好意的であり、協力してくれる。
-	<ul style="list-style-type: none"> 生徒数が減少し、特別活動で活気が乏しい。また生活全般に主体性や粘り強さ・競争心に欠ける面がある。 固定した生徒集団の中で人間関係を変えられない生徒が多く、教育相談の個別対応が必要な生徒が多い。 基礎学力が定着しておらず、特別な支援を必要とする生徒が多い。メディアコントロールができていない生徒もいる。 教職員の年齢構成が若年層とベテラン層に分かれており、経験や教育スキルの継承が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域は少子高齢化のため、生徒数減による学級数減が進行している。 生徒の向上心を刺激するロールモデルが、地域で見つけにくい面がある。 家庭環境が様々であり、保護者の価値観も多様である。また学校への依存度が高い家庭もあり、要求が多様化している。

校訓

立 志 自分の将来の方向をはっきりと見定め、成し遂げようとする事	誠 実 自他ともに大切にし、何事にも真面目に取り組むこと	剛 健 心身ともに健康で、強くしっかりしていること
--	--	-------------------------------------

学校教育
目 標

志の実現に全力で取り組む心身ともにたくましい生徒の育成

めざす
生徒像

《こ小中一貫教育》 郷土を愛し、夢に向かって輝く吉永の子どもたち

[立志] 目標実現に向け、ひたむきに学ぶ生徒 [誠実] 思いやりの心もち、共に高め合える生徒 [剛健] 困難に立ち向かい、やり遂げる生徒

行動目標 自分から「よしなが」
 （よ…よく見て聴いて、よく考え表現する し…しっかり挨拶・返事をする な…仲間を認め、協働する が…学校・地域に貢献する）

めざす
学校像
教職員像
生徒の
実態
保護者の
願 望

《生徒の実態》 ○まじめで素直 ○規範意識も高い ○地域ボランティア ●学習習慣 ●主体性・競争意識 ●自己有用感	めざす学校像 ○生徒が主体的に取り組む学校 ○人権が守られ、ともに支え合う学校 ○生徒の自己実現のために協働する学校 ○生徒・家庭・地域・教職員が誇りに思う学校	めざす教職員像…良い大人モデル ○使命感をもち、愛情豊かな教職員 ○自己研鑽をする教職員 ○同僚性・協働性を大切にする教職員	《保護者の願い》 ○わかる授業と学力向上 ○基本的な生活習慣と家庭学習習慣の確立 ○子どもが将来の展望をもち成長する姿を実感 ○人権感覚の向上
---	---	--	---

学校経営
方 針

上記の教育理念や学習指導要領の主旨、学校内外の実態をふまえ、生徒の自己実現に向かう力や社会の中で必要な力を伸ばすために**キャリア教育を学校経営の基盤に据え**、教育活動を展開するとともに**社会に開かれた教育課程の実現のために社会との接続を図る**

- ①生徒が得意・夢・役割から**志を立て**、具体的な行動を考え、実践する等、**今と将来をつなぐ取組を行う**
- ②活動前の**目的的理解**と活動後の**振り返りを重視し**、次の活動に繋げる**P D C A サイクルをまわす取組を行う**
- ③主体的に学べるように、**学びの接続**（一単位時間、社会・家庭）を図り、指導の工夫・改善に取り組む
- ④【話す】【聴く】【読み取る】【伝え合う】活動に重点的に取り組み、**コミュニケーション力の向上を図る**
- ⑤行動目標【自分から「よしなが」】を社会の中で必要な力と捉え、推進する
- ⑥生活習慣、学習習慣等、**凡事徹底**の雰囲気をつくとともに生徒一人一人が**認め合い、支え合う人間関係づくり**ができる積極的な生徒指導を推進する

具体的な
取 組

学力向上	たくましい心と体の育成	積極的な生徒指導
③④吉永中モデルの遵守 (岡山型学習指導のスタンダードを基盤として) ・目標・目的の提示と振り返りの確実な実施 ・基礎・基本の定着 ・見方・考え方をふまえた思考スキルの活用 ・授業と家庭学習のリンク（課題提示と次時の復習） ・チャレンジナビを繰り返し活用（学ぶ意義・学び方） ③授業のユニバーサルデザインや個に応じた指導の充実（特別支援教育の充実） ・ICT機器の活用 ・授業規律・環境の工夫 ③授業以外の学習の質・量の向上 ・放課後学習会の推進 ・チャレンジノートの質的向上 ③学習指導要領の理解の深化	①⑥自己マネジメント力の育成 ・立志証の取組 ・生活ノートの活用 ⑤規範意識や人権意識の醸成 ・道徳の時間の充実 ・生徒主体の取組の充実 ⑤主体性、責任感の醸成 ・学校行事や生徒会活動、体験活動での取組の充実 ・自己や集団の責任を自覚させ、「やりきる、やらせきる」指導の徹底 ⑤ボランティア活動や地域行事への積極的な参加の推進 ・意義の理解、意欲の醸成、自己有用感の獲得 ⑥生命・安全を大切にする指導の充実 ・講師を招聘し専門的な見地からの指導の充実 ⑤自己・他者理解ができる指導の充実 ・SST・ストレスマネジメント等の実施と活用	⑥基本的生活習慣の確立 ・凡事徹底（あいさつ・時間・清掃） ・PTAと連携したメディアコントロールの取組 ⑥教育相談機能の充実 ・教職員の傾聴スキルの向上 ・QI等心理検査の実施と活用 ⑥組織的な生徒指導体制の構築 ・問題行動、いじめの未然防止・早期発見・対応 ・家庭との連携 ・SC・SSW、関係機関等との連携 ⑥共感や規律の土台となる学級経営の工夫 ・OJTの充実 ・教員のスキルの共有
特別支援教育の知的理解と実践的態度の育成		

地域社会・家庭との連携
 ○PTA ○地域ボランティア ○参観日・懇談 ○通信（学校・学年・学級） ○学校HP ○こ小中連携